

index

特
集

● 年頭ごあいさつ

● 病理検査の紹介

トピックス

- 江南市認知症徘徊者搜索訓練
- おシゴト紹介「診療情報管理士」
- 災害拠点病院災害訓練

イベント紹介

- 公開医療福祉講座
- 股関節術後の患者との情報交換会
- 院内コンサート

お知らせ

- CS(ケア・サポート)セットのご案内
- 保険証の確認について
- 面会のご案内
- 編集後記
- 診療日カレンダー



病院理念

- 一.私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一.私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一.私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



新年、明けましておめでとうございます。

早いもので、江南厚生病院は、平成20年5月開院以来、もうすぐ5年になります。この間、日本での最大の出来事は東日本大震災とその津波による福島第一原子力発電所の事故であり、今後のこの国のあり方をも変える大災害でした。

原子力発電をどうするのか、脱原発にしても、化石燃料の場合、地球温暖化はどうなるのか、再生エネルギーは十分な発電量を確保できるのか、そして、代わるべきエネルギーのコストに日本経済は耐えられるのか。大きな問題を突きつけられています。また、自由貿易主義に基づくTPP(環太平洋経済連携協定)についても、国民皆保険はどうなるのか、農業はどうなるのか、さらに、本質的には自由貿易主義は本当に必要なのか、本質は弱肉強食の思想ではないのか。これらの問題を十分に議論し、理解を深める大切な時期を、政界は政争に明け暮れ、昨年12月には総選挙となりました。今この新年の時点で、どの政党が政権を担っているか分かりませんが、全く期待も持てず、今後しばらくは日本の政治・経済は混迷が続くと思います。その間に「日本沈没」が起きないことを祈っています。

さて、私事で恐縮ですが、この3月に定年を迎え院長を退きます。振り返ってみますと、昭和47年春、昭和病院初めての研修医となり、翌48年内科医となりました。そして、昭和51年、一旦大学に帰りましたが、昭和57年、縁あって再び昭和病院に赴任いたしました。そして、平成元年、副院長、平成11年春、院長となりました。

その頃には、昭和病院も隣の愛北病院も建物の老朽化・狭隘化が著しく、敷地も狭く、建替えも困難でした。このままでは日進月歩する医療の進歩に対応できず、研修医や若い医師の来ない病院となり、そうすると江南を中心とする尾北地域では急病になったり、重い病気になったりしたら、小牧市民病院や一宮市民病院に、あるいは名古屋の大病院まで行って治療を受けるしかない地域になってしまうと危機感を持っていました。院長になってしばらくして、この2病院の統合新築移転の話が持ち上がり、厚生連内部、そして江南市との話し合いの結果、紆余曲折はありましたが、平成15年、統合新築移転が決定しました。その後、基本構想、基本設計、実施設計を経て、平成18年夏、病院の建設が始まり、平成20年5月、開院となりました。

最初の基本構想から開院、そして開院後の現在まで、何とか院長としてやってこれたのは、多くの職員の献身的な熱意と努力、そして、地域の方々の温かい御支援の賜物であり、ここに心より感謝申し上げます。ただ、全国的な医師不足と私の力不足により、開院時予定していた胸部外科、神経内科、精神科等にて常勤医師の確保が未だ

できず、想定していた病院機能が十分に発揮できていないことを深くお詫び申し上げます。

最後に、私は、江南厚生病院が、私の後に続く職員の努力により、ごく近い将来、名実ともに「病める人々の信頼に足る病院」になると信じています。

ありがとうございました。

特集

病理検査の紹介

病理検査の紹介

今回は病理検査を紹介させていただきます。病理検査には組織診検査、細胞診検査の2種類の検査があります。

組織診検査は生検といって、検査材料は病変部から内視鏡、注射針などを使って直接採取した数ミリ程度の大きさの組織と手術によって摘出された腫瘍や腫瘍を含む臓器などです。これらの組織をさまざまな行程を経て、顕微鏡で観察可能な標本に作りかえます。またこれらの組織標本を用いて遺伝子の検査も一部行っています。

細胞診検査は、個々の細胞を観察して細胞に異型がないかを調べます。喀痰中には肺の細胞、尿には膀胱、尿管の細胞が剥がれ落ちてきます。これらの細胞を集めて標本にします。

また甲状腺や乳腺などは超音波装置を用いて腫瘍の位置を確認し注射針で細胞を直接採取しています。これらの細胞を染色し、細胞検査士がチェックを行います。

組織診、細胞診の最終診断は病理診断科の医師が行っています。



臨床検査技術科 主任技師
横井 智彦



鏡検検査の様子



標本作製の様子

平成24年度災害拠点病院災害訓練

11月17日(土)に江南市消防本部をはじめ各近隣消防機関、江南保健所管内栄養士会と合同で大規模災害を想定した災害訓練を実施しました。

今回の訓練は、大規模地震が発災し、災害対策本部を立ち上げ、院内に大きな被害がないことを確認後、医療続行を決定し、被災患者の受け入れ(トリアージ)と応急救護を総勢350名で実施しました。

また、江南保健所管内栄養士会と合同で、炊き出し訓練を実施しました。

この訓練で得た反省点を踏まえ、災害に強い病院づくりに取り組んで参ります。



公開医療福祉講座

9月6日(木)「こどもの感染症」というテーマでこども医療センター副センター長で小児科部長の西村医師より、感染症とはどのようなものなのか、感染防止対策等について、また、ワクチン予防可能な疾患には「予防接種に優る対応はない」事をお話いただきました。



10月18日(木)ピンクリボン月間として乳がんイベントを、当院の乳がん患者会「マミーズダイニング」と外科の共催で開催しました。外科外来看護師による相談コーナーやメーカー各社による商品展示等を行う中、公開医療福祉講座として乳腺内分泌外科部長の飛永医師より「乳癌術後のホルモン療法」というテーマでお話いただきました。



11月15日(木)「冬場に注意したい感染症」というテーマで感染管理認定看護師の仲田看護師、大城看護師より、インフルエンザと感染性胃腸炎の感染経路と感染対策についてお話しいただきました。特にこれからの季節、手洗いやうがいを行うことが重要であることから、手洗い方法について楽しくわかりやすくお話しいただきました。いずれも、多数の患者さんやご家族の方の参加があり、多くの方がメモを取るなど熱心に聞いてみえました。



院内コンサート

9月19日(水)地域でボランティア演奏活動をしている「織音(おりおん)」によるエレクトーンとギターのコンサートが行われました。アートパールのパフォーマンスを交え、大変盛況でした。



Event イベント紹介

股関節術後の患者との情報交換会

10/20(土)、11/29(木)、12/18(火)に股関節術後の患者さんを対象に、①整形外科部長の川崎医師より「股関節疾患の最新情報」の提供 ②リハビリテーション科より「術前・術後に行ってほしい運動」についての紹介 ③患者の体験談 ④質問タイムという内容で情報交換会を開催しました。全部で300名近くの患者さんが参加され、医療従事者への質問や患者さん同士の交流も熱心にされました。今後も、股関節術前後の患者さんへの支援を考えてこうした場を持っていきたいと考えています。



10月20日・11月29日・12月18日

院内コンサート



11月8日(木)江南市を中心に演奏活動をしている「珈琲フレンズ」によるオカリナコンサートが行われました。オカリナの音色に合わせ歌を歌いながら、皆さん楽しい時間を過ごしてみえました。

11月8日

江南市認知症徘徊者搜索訓練

江南中部地域包括支援センター



11月2日(金)に江南厚生病院の外来をスタート地点として、老人福祉センターまでのルートで「江南市認知症徘徊者搜索訓練」を行いました。

当日、病院を受診された方の中には、訓練の様子をご覧いただけ方もみえたのではないのでしょうか。当日は大勢の方にご協力いただき、ありがとうございました。

昨年度に引き続き、声かけの練習が目的でしたが、今回は49名の方が徘徊役の方に声をかけてくださいました。声をかけなくても訓練の様子を「一体何をしているのだろうか?」と興味深く見守る

方もあり、認知症に対する関心・理解を深めていただくきっかけとなったのではないのでしょうか。

今回の訓練は認知症になっても安心して暮らすことのできる街づくりを目指した「江南市認知症支援^{あい}ネットワーク」の活動のひとつとして実施されました。江南市では“大丈夫、みんなで支える認知症”をスローガンに、今後もこのような取り組みを続けていきます。

このような取り組みの際には、みなさんも是非ご参加ください。

おシゴト紹介

診療情報管理士(診療情報管理室)

病院では様々な資格を持った多くのスタッフが、互いの専門性を生かしながら協力し合って働いています。その中で今回は診療情報管理士のおシゴトを紹介します。

医師が作成したカルテや看護記録、検査記録などの患者さんの診療に関する情報を収集、管理、分析して医療現場や経営側に必要な情報を提供する仕事です。

医療の安全面や経営管理に役立つことを目的にしています。

主な業務

診療記録の点検

- ・退院時サマリの受領及び点検
- ・カルテ監査

疾病分類

統計業務

医師業務軽減業務

- ・各学会への症例登録

診療記録等の保管、管理

- ・旧病院紙カルテの保管、管理
- ・同意書等文書の点検及び保管、管理

診療情報等開示に関する業務

がん登録

- ・院内がん登録
- ・愛知県悪性新生物患者届出



●退院時サマリとは

入院から退院までの経過・治療内容を要約して記載されたもの

●疾病分類とは

カルテに記載された病名などを、WHO(世界保健機関)の国際疾病分類に従ってコード化すること。

標準化された疾病分類にすることで、国際的な比較が可能になります。

●がん登録とは

病院で診断されたり、治療されたりした全てのがんについての情報を集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。この調査を複数の病院が同じ方法で行う事により情報の比較が可能となり、がん治療への貢献に協力する重要な業務です。

CS(ケア・サポート)セットのご案内

平素より当院の方針にご理解とご協力をいただきありがとうございます。この度、CSセットとして入院時に必要となる寝衣・タオル・バスタオルの洗濯付きリースサービス及び日用品のリース、紙おむつプランを導入いたしました。CSセットは院内外の感染予防対策にも繋がります。またCSセットをご利用いただくことで入院に際しての荷物、手間を減らすことができますので、是非ご利用ください。

CSセット

CSプラン

寝衣・フェイスタオル・バスタオル・日用品

.....1日400円



紙おむつプラン①

(常時おむつを使用)1日520円

紙おむつプラン②

(夜間のみ)1日380円

詳しくは、入院時に説明させていただきます。



● 保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付が新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

● 面会のご案内

平日	15:00~20:00
土・日曜日・祝日	13:00~20:00

※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

編集後記

● 明けましておめでとうございます。今年の干支は「巳」です。辞書を引くと「草木の成長が極限に達した状態」「植物に種子がではじめる時期」の意味があるようです。皆様にとって今年が飛躍の一年になりますことをお祈りしています。

2013年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です)

● 午後休診

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	8	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	26	26	27	28		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	8	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	26	26	27	28	29	30

● 発行日/平成25年1月1日

● 発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300